

東京の文化財



絹本着色五百羅漢図 兆溪元明筆(左:護国寺蔵、右:弘福寺蔵)
画像提供:墨田区教育委員会

目次

東京都指定文化財の新指定	1~3
「東書文庫」の近代教科書関連資料の修理について	4~5
文化財を活かす(葛飾区・稲城市)	6~7
名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年	8

東京都指定文化財の新指定

東京都教育委員会は、東京都文化財保護審議会(会長 後藤治)から答申を受け、令和6年3月7日、2件の新指定を決定しました。

名勝小金井（サクラ） 名勝指定100周年

まちの発展は小金井桜とともに

史跡「玉川上水」内には、小金井橋を中心として東西約6kmに及ぶ、約290年の歴史を有する都内では稀有なヤマザクラ並木の景観が現在も残ります。これらは小金井桜や御上水桜の名で親しまれ、1924（大正13）年に「小金井（サクラ）」（当時は櫻）として国の名勝に指定されるまでとなりました。全国の桜の名所での名勝指定は、史跡名勝「吉野山」（奈良県）や名勝「桜川（サクラ）」（茨城県）とともに国内第1号の快挙です。政財界・地元有志等による保護活動が実を結んだ瞬間であり、「桜博士」として知られる三好学博士による小金井桜の研究も大きな後押しとなりました。

この桜を愛するために全国から多くの花見客が訪れ、小金井は行楽地として賑わいました。現在の武蔵小金井駅は、指定に先立つ1924年4月に作られた花見客のための仮乗降場を前身とするとも言われ、小金井桜は小金井周辺地域の発展に大きく寄与しました。

100周年をきっかけに笑顔を広げたい

本年12月9日に「小金井（サクラ）」は名勝指定100周年を迎えます。小金井桜の歴史を尊び、次の100年に繋いでいくための契機として、小金井市では小金井桜を「知る つなげる 笑顔広がる」ことを事業理念に掲げ、「名勝小金井（サクラ）名勝指定100周年記念事業」を実施します。参加型事業から記念グッズ・PR動画制作まで、さまざまなイベントを予定しています。

<イベント予定>（一例）

- 100周年記念式典
- 小金井桜フォトコンテスト
- 文化財センター季節展「名勝小金井桜」
- 公民館成人学校「小金井桜と日本の桜」
- 小金井桜観桜会と花の宴
- プロモーション動画制作、他



満開時期は例年3月末から4月上旬頃

名勝を構成するヤマザクラは一本一本に個性があり、早咲きから遅咲きまで開花期間も多様で、3月中旬から1か月間楽しめます。玉川上水堤のヤマザクラが満開となる時期は、ソメイヨシノから1週間ほど遅れて例年3月末～4月上旬頃です。

平成22年度からヤマザクラ並木の整備を進めてきた結果、都立小金井公園周辺の玉川上水ではかつての美しい景観が再生してきています。春の玉川上水は、さまざまな在来草花が芽吹き、土手を彩り始めます。貴重なニリンソウ・クサバケとサクラの共演も見どころです。江戸時代の面影や歴史を感じられるお花見に是非お越しください。

問合せ先

小金井市教育委員会生涯学習課文化財係

電話 042-387-9879

イベント情報はQRコードから



編集後記

3月に入っても寒い日が続きましたが、この号が出る頃には寒さもやわらぎ、春の訪れが感じられていることと思います。

暖くなるこれからの季節、東京の文化財を訪ねて、お出かけしてみたいはいかがでしょうか。

令和6年3月31日

発行 東京都教育庁地域教育支援部管理課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03 (5320)6862